資料 1

令和3年度 瑞浪市図書館協議会委員名簿

(任期:令和2年4月27日から令和4年4月26日まで)

	委員氏名	所属	選出区分	
1	岩島 哲也	日吉小学校	学校教育の関係者	小中校長会の構成員
2	小木曾 恵美	社会教育委員	社会教育の関係者	社会教育委員
3	正村 京司	稲津公民館	社会教育の関係者	公民館の代表
4	小木曾 文夫	陶公民館	社会教育の関係者	市民図書館分室のある公民館の代表
5	井篁 礼子	図書館ボランティア協議会	社会教育の関係者	図書館ボランティアの代表
6	遠山 みゆき	一色幼稚園	家庭教育の向上に資する活動を行う者	園長会の構成員
7	小池 誠	瑞浪市PTA連合会	家庭教育の向上に資する活動を行う者	市PTA連合会の構成員
8	井上 典子	中京高等学校	学識経験のある者	中京高等学校学校司書

*瑞浪市民図書館の設置及び管理に関する条例第9条:図書館協議会の委員の定数は、10人以内とし、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

*「学識経験のある者」とは、学問上の知識又は実務に関する経験を有するものをいい、広く各界から有識者を委員とすることができる。

	氏名	補職
事務局	奥谷 ひとみ	社会教育課長
	宮地 恵理子	社会教育課 生涯学習推進係長
	榊原 勝哉	社会教育課 生涯学習推進係員

資料 2

図書館協議会とは

瑞浪市図書館協議会は、図書館法及び瑞浪市民図書館の設置及び管理に関する条例に基づいて設置されている機関で、瑞浪市教育委員会及び瑞浪市民図書館長の諮問（相談して意見を求めること）に応じるとともに、図書館の運営やサービスについて意見を述べる役割を担っています。

- ・委員は10人以内とし、教育委員会より任命されます。
- ・任期は2年間で令和2年4月27日から令和4年4月26日です（途中交代は前任の残任期間）。
- ・定例会は毎年2回開催し、必要がある場合は臨時会を開催します。

【参考:図書館法より】

第14条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第15条 図書館協議会の委員は、地方公共団体が定める条例に基づいて教育委員会が任命する。

第16条 図書館協議会の設置、その委員の定数、任期その他必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

【※図書館奉仕:図書館法より】

第3条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望にそい、更に学校教育を援助し得るように留意し、おおむね左の各号に掲げる事項の実施に努めなければならない。

- (1) 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード、フィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視覚聴覚教育の資料その他必要な資料（以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。
- (2) 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。
- (3) 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。
- (4) 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。
- (5) 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。
- (6) 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びその奨励を行うこと。
- (7) 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。
- (8) 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
- (9) 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

【瑞浪市民図書館の設置及び管理に関する条例】

第9条 法第16条の規定に基づき、図書館に図書館協議会を置く。

2 図書館協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、10人以内とし、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 図書館協議会に会長を置き、委員は、会長を互選により定める。

自 令和3年4月 1日 至 令和4年3月31日

市民の自由な学習と自立を支援する生涯学習の拠点である図書館として、地域の課題解決支援、市民が読書に親しむことができるような環境づくり、読書推進の啓発活動に努めます。資料の充実と郷土、窯業関連、街道関係など特色ある資料収集を行い、市民や利用者への資料及びサービスの提供に努めます。窓口での貸出返却だけでなく、ITを活用して利用者への利便性を図り、情報提供に努めます。施設の管理については、安心と安らぎを感じられる施設を目指して、安全確保及び危機管理に努めます。

なお、令和2年度は4月当初からコロナ感染対応に追われ開館もままならず、10月に入ってやっと平時の環境に戻りつつありますがまだ利用者に不便をかけているところです。令和3年度はコロナ感染対策を踏まえた新しい利用方法、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めます。イベント学習活動については、参加者の理解を得ながら、万全なコロナ対策をして読書推進につながる有意義な事業展開をします。

1. 図書館指定管理業務

図書館の指定管理者として基本協定書に基づき、貸出返却業務をはじめ瑞浪市民図書館に関する業務規程に従って利用者の安全第一を基本に管理運営を行います。

2. 施設運営と危機管理

施設全体の運営については、システム更新に伴い館内OPACにセルフ貸出機能の導入をはじめ、簡便になったホームページの更新など、新システムを活用して利用者に身近な図書館施設の利用促進を図ります。

施設の管理運営は、コロナ対策として行っている3密を避ける対策や手指の消毒機器の適正な設置、館内の消毒を行い安心できる施設に努めます。利用者が安全に利用できるよう、迷惑行為や盗難、事故、個人情報流出などのトラブル、自然災害や火災などの災害を回避するための職員研修を行います。利用者を対象に地震を想定した防災訓練を実施します。

3. 50周年記念事業

本年は土岐町栄町に昭和46年6月にオープンした市民図書館から50年という節目の年に当たり、図書館らしい記念イベントとして作家による講演会を企画開催します。

4. 図書館広報事業

市民への広報活動の充実を図るため、次の広報紙等を作成し、関係機関への配布、PRに努め、随時ホームページやSNSを更新します。

- (ア) 市広報1日号に「図書館だより」を掲載します。
- (イ) 一般利用者向けとして「瑞浪市民図書館だより」を毎月1日に作成して窓口で配布します。
- (ウ) 児童向けとして「おともだち」を毎月末日までに作成して各幼保、児童館、児童コーナー等にて配布します。
- (エ) その他各事業の案内チラシを適宜配布します。

5. 読書推進活動

読書推進を図るため、次の活動を実施します。

- ポップの活用 本の紹介を含めわかりやすい内容説明やお薦め文などをポップで紹介します。
- アンケートの活用 各種イベント時や通常のアンケートを参考にして利用者のニーズを把握してより充実した図書館業務に活用します。
- 読書案内の発行 シニア向けやヤングアダルト向けに読書案内を発行します。

6. 児童、青少年サービスの充実

図書館の大きな課題として、子どもの読書離れを防ぎ、読書を奨励推進するため学校との連携を図りつつ、図書館の児童サービスを充実することがあげられます。そのために、親子で図書館に足が運べるような環境づくりとともに、「瑞浪市子どもの読書活動推進計画」にあるように、学校、PTAや子ども会など関係機関との連携が必要です。具体的には以下のとおりです。

① 子ども読書推進事業

「本と緑のさんぽみち」をはじめ、図書館まつりなどのイベントでの読書推進、読みきかせの大切さや楽しさを伝える「おはなしのじかん」の広報活動と充実を図るとともに、関係機関との連携に努めます。

② 読みきかせ活動の充実

図書館での読みきかせは毎週土曜日と未就園児を対象に毎週水曜日に実施していますが、継続した参加を促すため、ブックスタートなどで読みきかせの大切さを積極的に周知します。併せて、読みきかせボランティアの高齢化やコロナ対策で今までの読みきかせができなくなってきているので、新しい読みきかせの方法などの研修、育成講座を実施して、活動の充実を図ります。

③ 小中学校との連携

各小中学校で、ブックトークを実施し、読書離れが懸念されている年代に向け、読書推進を図ります。ヤングアダルトコーナーを充実させ、本との出会いをサポートします。各小学校からの施設見学では図書館の利用のしかた、貸出体験と図書カードの普及を促進して継続的な利用を図ります。

④ 夏休み期間の開館時間延長

平成30年度から実施している9時間開館は令和2年度コロナ対策の影響で中止となりましたが、今年度は実施ができるように努めます。

7. ボランティアの育成支援

講座の開催などで多くのボランティアが誕生してきましたがボランティアの高齢化もあり、減少傾向にあります。今後はボランティアの自主的な活動を支援するとともに、広報活動に努めてボランティアの確保と現在活躍している方たちの全体的なスキルアップを図ります。

8. シニア読書推進事業

シニア向けの講座の開講やシニアによく借りられる本や作家の特集を行い、定期的に来館を促すような事業を行います。具体的にはテーマを絞った特集本の充実や今年度新規事業として、好きな作家、ジャンルを決めての少人数による茶話会形式の読書会を実施します。

9. 図書選書業務

限られた予算のなかで購入計画を基に効率的な選書を実施します。市民の意見を反映しつつ、各ジャンルの貸出状況などを考慮してバランスのとれたより良い蔵書構成に努めます。

10. リサイクル本の活用

除籍本や寄贈された資料のなかで収集基準に該当しないものはリサイクル本として、図書館入口のリサイクル本コーナーや図書館まつりのリサイクル本市で利用者に再活用を促しています。分室のない日吉、稲津公民館には定期的にもリサイクル本を配布し、活用を促します。

11. 防災訓練の実施

今年度は、開館時間内での防災訓練と職員による館内の防災設備の確認や安全対策への研修を行います。

12. ミニ展示コーナーの活用

現在展示期間を1ヵ月単位で実施し、施設の利用者や個人の展示を中心に行っていますが、令和3年度は展示期間の短縮や多方面の展示を行い、いつも図書館に足を運んでいただけない方たちにも楽しんでもらえるようにします。

13. 市内全域へのサービス

本館や分室のない地域の方へのサービスとして各地区の催し物への積極的な参加や高齢者、障がいのある方など、図書館に足を運ばない方に宅配サービスの利用を促します。

14. その他

日々の業務、各種事業について職員一同が市民サービスを第一に考え、読書推進のために正確且つ円滑な業務運営に努め、信頼される図書館を構築します。

令和3年度 瑞浪市民図書館年間事業計画

	イベント活動	展示活動	学習活動	その他
4	本と緑のさんぽみち(25) ・絵本の読みきかせ ・ワークショップ (おめんをつくろう) ・大型紙芝居(大人向け) 参加8組(子供12名、大人10名)	読書週間関連展示(1~18) 可知井氏の絵画展 (20~5/5)		屏風山植物観察講座(月1回) 閉架書庫開放(30) 参加9組(子供5名、大人10名)
5		篆刻展(7~30)		防災訓練(延期)
6		県図書館郷土作家展 (12~7/4)	日本文学講座(中止)	蔵書点検(7~11)
7	図書館まつり(22) ※別紙参照【1】	自然ふれあい館(6~25) 桜寿荘・さくら合同展 (27~8/25)	日本文学講座(中止) 夏のわくわくとしよかん 自然ふれあい館(25) ※別紙参照【2】 ボランティア講座 読みきかせ(21)	
8		図書館企画展(17~9/1)	夏のわくわくとしよかん 水辺(1) ※別紙参照【2】	
9		松原千尋絵画展(14~10/3)		図書館開設50周年記念 塩田武士講演会(18) ※別紙参照【3】
10		勝さんの山の絵展(5~24) 読書週間関連展(26~11/7)		読書会 ※別紙参照【4】
11	読書週間関連イベント 図書館マナー週間	トロールの折り紙リース展 (9~28)	ボランティア講座	防災訓練
12	サンタクロースがやってくる (18)	土雛展(1~19)	餅花づくり(12) リースづくり(4)	読書会
1		正月展(5~23) 中京幼稚園(25~2/13)		
2		日吉保育園卒園展(15~3/6)		読書会
3		陶芸作家展(8~30)		成人向け体験講座(自主事業)
例 月	おはなしのじかん(毎週土曜日14時~)		四ヶ月健診時読みきかせ(ブックスタート事業)	
	ひよこの日未就園児対象おはなしのじかん (毎週水曜日 11時~11時20分)		啓明保育園5歳児読みきかせ(月1回)	
	陶幼児園読みきかせ(月1回)		瑞浪幼児園読みきかせ(月1回)	
	土岐児童センター読みきかせ(月1回)		ブックトーク実施(随時)	

令和3年度事業計画 新規事業など詳細

【1】図書館まつり 7月22日(木・祝)

◇リサイクル本市 10時～15時(事前申込制 ※検討中)

◇本のビニールカバーかけ(当日の実演はなし) 有料・事前申込制

◇夜のイベント 対象:児童

事前申込制 定員:20人(定員になり次第締切、前日まで)

・おはなしの時間(18時から18時30分)

・図書館探検(18時30分～19時30分)「本バラバラ事件～犯人をさがせ～」

※例年は前夜祭を含め4日間開催しています。(本のビニールカバーかけを除いて自由参加)

【2】夏のわくわくとしょかん 対象:児童

<各教室> 時間:10時～ 定員10組(※定員になり次第締切) 参加費:200円

・7月25日(日)「ブローチをつくろう」

場 所:瑞浪市民図書館 1階研修室 講 師:自然ふれあい館 スタッフ

・8月1日(日)「土岐川の生き物たちと触れあおう」

場 所:瑞浪市民図書館 1階研修室 講 師:土岐川観察館 スタッフ

※昨年度に計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止となりました。

【3】瑞浪市民図書館50周年記念講演会 小説家塩田武士(※演題未定)

本年は土岐町栄町に昭和46年6月にオープンした「市民図書館」から50年という節目の年に当たり、記念イベントとして作家による講演会を開催します。

9月18日(土) 開場:13時30分 開演:14時

場所:瑞浪市総合文化センター 2階文化ホール

定員:384名 入場料:1,000円 ※講演後、サイン会を予定しています。

【塩田武士(しおた たけし)】

1979年兵庫県生まれ。小説家。神戸新聞社・将棋担当記者時代の経験を活かして執筆した『盤上のアルファ』で、2010年第5回小説現代長編新人賞を受賞し、小説家としてデビュー。

2016年には、日本社会を震撼させ未解決のまま時効を迎えた「グリコ・森永事件」を題材にした『罪の声』を刊行し、大きな話題となった。本作は山田風太郎賞を受賞、本屋大賞3位にも選ばれた。2020年『罪の声』、2021年に『騙し絵の牙』が映画化された。

【4】読書会(検討中)

10月より開催予定。少人数制。

好きな作家、ジャンルなどテーマを決めて、少人数による座談会形式での読書会を実施します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

1. 来館者へ以下のことをお願いしています。

- ① 館内でのマスクの着用
- ② 発熱など体調がすぐれない方は来館を控えて頂く
- ③ 入退館する際の手指の消毒、滞在時の手洗い・手指の消毒
- ④ 館内では周りの人と十分な距離を空けて頂く
- ⑤ 館内での長時間の滞在は控えて頂く
- ⑥ 来館時に資料の貸出、返却をしないで帰られる方は、出入り口で「岐阜県感染警戒QRシステム」のQRコードを登録するか、入場チェックシートにご記入いただく。
※当館に關係して感染者が確認された場合、来館情報を保健所に提供します。

2. 館内での対策

- ① 閲覧席を半分に削減
- ② カウンターに、利用者と職員の間には飛沫感染防止の為の亚克力板を設置
- ③ 消毒
返却された資料を消毒(ボランティア・職員による)の上、書架へ戻す。
館内の消毒(カウンター・トイレなど)
- ④ 館内放送による注意喚起(マスクの着用・手指の消毒・長時間の滞在は不可)
- ⑤ 学習室・研修室(1階)
座席を平時の半分以下に削減
利用された方に使用した机・椅子の消毒をお願いしています。

3. イベント時

平時は自由参加のイベントでも定員を設け、事前申込制にしている。
参加時はマスクの着用、手指の消毒、検温にご協力いただく。
参加者同士が一定の距離を保てるよう心掛ける。

4. HPなどでの告知

イベントの中止、図書館サービスの縮小などがあった場合は、HP・SNSなどによる迅速な告知を心がけています。

5. 職員の健康管理

体温チェック・マスクの着用・手洗い、手指の消毒など健康管理に努めてまいります。

資料収集方針

- ① 「図書館の自由に関する宣言」を順守し、偏りのない資料収集に努める。
- ② 公共図書館の役割、社会的動向を考慮しながら、市民の資料要求が十分反映されるよう配慮し、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するための資料を幅広く収集する。
- ③ 思想、宗教、党派など多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点にたつ資料を公平かつ幅広く収集する。
- ④ 個人や組織、団体からの圧力や干渉によって資料収集の自由を放棄し、あるいは紛糾を恐れて自己規制したりしない。
- ⑤ 寄贈資料の受入に当たっても同様とする。

資料の種類

- ① 図書（一般図書・参考図書・児童図書）
- ② 郷土資料・街道資料
- ③ 陶磁器及び窯業関係資料
- ④ 外国語資料
- ⑤ 逐次刊行物(新聞・雑誌)
- ⑥ 視聴覚資料（CD・ビデオ・DVD・カセット）
- ⑦ 視覚障害者及び高齢者用資料
- ⑧ 寄贈図書

収集基準

① 図書

一般図書・参考図書

- ・ 市民の趣味教養・学習調査研究等に資するため、日常生活に必要な実用書、あらゆる分野の基本的・入門的な図書を中心に幅広く収集する。
- ・ 辞典・事典・図鑑等の参考書は、あらゆる分野にわたって最新のもの、学術的、書誌的に価値があるものを収集する。
- ・ 専門書、学術書、蔵書目録、索引等は、利用頻度を考慮し、必要に応じて収集する。
- ・ 政府刊行物（白書・統計書類）、年鑑、便覧などは、利用頻度を考慮し、基本的なものを収集する。
- ・ 書き込み、切り取り又は組み立てを目的として作られた図書及び著しく破損しやすい図書、学習参考書、各種試験問題集及びテキスト類、漫画本は原則として収集しないものとする。
（ただし漫画本については、漫画が本文の補助的な役割を果たしているもの、あるいは読書のきっかけ作りに結びつくと評価されるものについては、内容を十分に考慮して収集することができる。）
- ・ 類書が多く出版されている分野は、類書の所蔵状況や貸出状況を総合して収集する。
- ・ 以下に「日本十進分類法（NDC）9版」に基づき選択基準を定める。

【0類】総記

- ・ 図書館関係・読書指導に関する資料は幅広く収集する。
- ・ 情報科学に関する資料は基本的な技術書・解説書を中心とする。

【1類】哲学

- ・ 哲学・心理学・倫理学・宗教など各分野の基本図書を収集する。
- ・ 入門書から概説書まで収集する。

【2類】歴史

- ・ 歴史・地理など各分野の基本図書を幅広く収集する。
- ・ 入門書から概説書まで収集する。
- ・ 郷土(岐阜県内)の地理・地誌は積極的に収集する。
- ・ 旅行書・ガイドブックは類書の所蔵状況・利用頻度を考慮して新しい内容の保持に努める。

【3類】社会科学

- ・ 政治・法律・経済・統計・社会・教育・風俗習慣など各分野の基本図書を収集する。
- ・ 入門書から概説書まで収集する。
- ・ 法律・統計および日常生活に必要な実用書は新しい内容の保持に努める。

【4類】自然科学

- ・ 数学・理学・医学など各分野の基本図書を収集する。
- ・ 入門書から概説書・入門的専門書までを収集の範囲とする。

【5類】技術

- ・ 工学・工業・家政学など各分野の基本図書を収集する。
- ・ 入門書から概説書までを収集の範囲とする。
- ・ 住宅・インテリア・家政学・生活科学の分野は、趣味・実用に役立つ資料を収集する。

【6類】産業

- ・ 農林水産業・商業・運輸・通信など各分野の基本図書を収集する。
- ・ 入門書から概説書までを収集の範囲とする。
- ・ 園芸・ペットなどの分野は、趣味・実用に役立つ資料を収集する。

【7類】芸術

- ・ 美術・音楽・演劇・スポーツ・諸芸・娯楽などの各分野の基本図書を収集する。
- ・ 入門書から概説書・入門専門書までを収集の範囲とする。
- ・ 全集・叢書・写真集等についても収集する。

【8類】語学

- ・ 言語については入門書から概説書までを収集し、広く学習されている言語については、文法や発音・学習法など内容を吟味して収集する。
- ・ 主要言語の辞典は幅広く収集する。

【9類】文学

- ・ 日本の小説・随筆・詩歌・作品集・評論・研究書などについては、古典から現代文学まで幅広く収集する。
- ・ 外国文学は、日本文学に準ずる。

児童書

- ・ 絵本・児童文学等の児童図書は、子どもの知的・情緒的経験をひろげ、多くの本に触れることができるよう、幅広い選書に努める。
- ・ 内容はもとより、タイトル、製本、装丁、色彩にも十分配慮して収集する。
- ・ 調べ学習に役立つ資料は積極的に幅広く収集する。

- ・ 紙芝居は、絵の表現がすぐれ、豊かな心を育む内容のものを収集する。

② 郷土資料・街道資料

- ・ 郷土資料は、瑞浪市を中心として、岐阜県内(特に東濃)の資料を重点的に収集する。
- ・ 行政資料は、瑞浪市及び県内の各種行政機関（特に東濃）で発行する資料を収集する。
- ・ 街道資料は、主に中山道を中心とした資料を収集する。
- ・ 江戸時代に発行された中山道関係及び旅に関する和本についてもできる限り収集する。

③ 陶磁器及び窯業関係資料

- ・ 陶磁器・窯業・セラミックスに関する資料は、特に網羅的に収集する。
- ・ 地場産業に関する資料は特に収集に努める。

④ 外国語資料

- ・ 児童書を中心に収集し、収集に当たっては児童書の基準によるものとする。
- ・ 一般書・新聞・雑誌等は英語を主要言語として収集する。

⑤ 逐次刊行物

新聞

- ・ 新聞は今日的な情報源として、全国紙・地方紙を収集する。

雑誌

- ・ 市民の要望の多いものを各分野における代表的な雑誌を中心に収集する。
- ・ 専門誌・娯楽誌は、必要性及び利用頻度に応じて収集する。
- ・ 漫画誌・コミック誌は原則として収集しない。
- ・ 地域資料として、地場産業を扱ったものも積極的に収集する。

⑥ 視聴覚資料（CD・ビデオ・DVD・カセット）

- ・ 視聴覚資料は、資料的価値の高い録音資料・映像資料を収集する。
- ・ 録音資料は、文芸等を中心にあらゆる年代の利用者に対応できるように収集する。
- ・ 映像資料は、著作権に配慮して、文芸・郷土に関して収録されたものを中心に収集する。

⑦ 視覚障害者及び高齢者用資料

- ・ 点字資料、大活字本、録音図書等を利用者の要望にそって収集する。

⑧ 寄贈図書

- ・ 内容、出版年、利用度、保存状態を十分考慮して選定し、受け入れる。

選定方法

収集に当たっては、職員の合議により選考リストを作成し、館長の決裁を受けるものとする。

協議決定

資料収集の適正を図るため、次の事項について図書館協議会が協議決定する。

- ① 蔵書の構成計画に関すること
- ② 資料の収集計画に関すること
- ③ 資料の不要基準に関すること
- ④ その他資料収集に関し、必要なこと

令和3年度蔵書購入計画

		令和2年度末 蔵書数	令和2年度 受入冊数(A)	(A)／(B) 年度一般受入率	令和3年度 受入予定冊数
一 般	0 総 記	4,506	107	3.1%	110
	1 哲 学	5,022	135	3.9%	110
	2 歴 史	11,583	376	10.8%	450
	3 社会科学	16,792	608	17.4%	550
	4 自然科学	7,275	354	10.1%	340
	5 技術工学	8,976	451	12.9%	400
	6 産 業	3,601	164	4.7%	170
	7 芸 術	12,562	243	7.0%	300
	8 言 語	1,721	32	0.9%	50
	9 文 学	22,849	324	9.3%	300
	F 小 説	23,172	622	17.8%	630
	L 大活字	1,493	29	0.8%	40
	T 点 字	165	14	0.4%	10
	その他	151	36	1.0%	10
	小 計	119,868	3,495	100.0%	3,470 (B)
	児 童	E 絵 本	18,452	306	34%
K 児 童		29,170	581	64%	740
P 紙芝居		1,264	17	2%	50
小 計		48,886	904	100%	1,130
G 郷土資料		15,420	184		200
N 街道資料		643	0		10
A 視聴覚資料		2,259	41		50
小 計		18,322	225		260
雑 誌		8,748	1,323		1,400
その他		279	16		0
合 計		196,103	5,963		6,260

瑞浪市民図書館資料除籍基準

瑞浪市民図書館で所蔵する資料を除籍しようとするときは、この基準により行う。

1. 除籍の種類

- (1) 亡失
- (2) 毀損（破損、汚損）
- (3) 不要

2. 除籍の基準

(1) 亡失

- ア 蔵書点検後、2年以上所在不明のもの
- イ 利用者が紛失した資料で絶版、再版未定、廃盤等により、同一現品での弁償の見込みがないと判断されるもの
- ウ 災害等不可抗力と認められる事由により、滅失したもの
- エ 利用者の転出等により、貸出時から1年以上経過しているにもかかわらずなお回収が不可能となっているもの

(2) 毀損（破損、汚損）

- ア 修理不能のもの
- イ 毀損した資料で補修する価値がないと判断されるもの

(3) 不要

- ア 新版、改訂版の発行、法律の改正等により利用価値がなくなったもの
- イ 今後利用される見込みの少ない複本のもの
- ウ 一般図書、児童書、参考図書その他の資料はおおむね次の年限保存し、その後除籍等の検討し、不要と判断されたもの

一般図書	10年
児童図書	10年 絵本5年
参考図書	10年
視聴覚資料	3年
白書	3年

- エ 別表1の保存年限を過ぎた新聞
- オ 所定の保存年限（毎年度別に定める）を過ぎた雑誌

(4) 数量更正

- ア 合本により数量が更正されたもの

3. 除籍の対象としないもの

- (1) 特殊資料（郷土資料、街道資料、陶磁器及び窯業関係資料、その他保存を考慮して収集した資料）
- (2) 絶版等の理由により、今後入手することが困難で保存の必要があるもの
- (3) 各分野の基礎的な全集、叢書類

(4) 類書がない、又は極端に少ない資料

4. 除籍の方法

資料が除籍の基準を満たしたときは、次のとおり処理する。

- (1) 資料の除籍は、担当者が除籍対象資料明細を作成し、館長が決定する。
- (2) 館長は、(1)の規定により除籍を決定した資料について、教育委員会に報告しなければならない。
- (3) 除籍決定資料は、資料管理システムの状態区分を除籍とする。
- (4) (1)の規定により除籍とした資料のうち、現品があるものについては、バーコードを資料から切り取り、当館以外の公の施設や利用者に希望がある場合は活用を図るものとする。ただし、再利用できないものは、古紙又は廃棄物として処分するものとする。

附則 この基準は、平成25年4月1日から施行する。

この基準は、平成27年4月1日改訂する。

別表1

新聞保存年限

新聞名	保存年限
毎日新聞（朝・夕）	1年
朝日新聞（朝・夕）	1年
読売新聞	1年
岐阜新聞（朝・夕）	10年
中日新聞（朝・夕）	1年
中日新聞（縮刷版）	10年
中日スポーツ	1年
日本経済新聞（朝・夕）	1年
中部経済新聞	1年
日刊工業新聞	1年
日経産業新聞	1年
ジャパントイムス	1年
東濃新報	10年

雑誌保存年数(令和3年度)

雑誌名	保存年数	受入れ区分	備考
アエラ ウィズ キッズ	3年		
アサヒカメラ	2年		休刊
an・an	1年		
I n R e d	2年		
with Pets	1年	寄贈	
うかたま	3年		
美しいキモノ	3年		
エクラ	1年	寄贈	
Wedge	1年	寄贈	
エッセ	2年		
NHKきょうの健康	3年		
NHKきょうの料理	3年		
NHKきょうの料理 ビギナーズ	3年		
NHK趣味の園芸	3年		
L D K	1年		
おはよう21	2年		
オール読物	3年		
オレンジページ	2年		
カーサブルータス	2年		
かぞくのじかん	3年		
家庭画報	2年		購入停止
Come home!	5年		
キネマ旬報	2年		
岐阜人	永年		休刊
銀花	10年		休刊
Ku:nel	2年		
暮らしの手帖	10年		
クロワッサン	2年		
芸術新潮	10年		
K E L L y	1年		
現代農業	5年		
コットンタイム	3年		
子供の科学	3年		
こどものとも	10年		
こどものとも0・1・2	10年		
こどものとも年少版	10年		
こどものとも年中向き	10年		
子どもの本棚	10年		
こどもブティックチート	3年		休刊
この本読んで	10年		
ゴルフダイジェスト	2年		
サライ	2年		
J R時刻表	1年		購入は不定期
自家用車	2年		
週刊朝日	1年		
週刊東洋経済	1年		
週刊文春	1年		

雑誌名	保存年数	受入れ区分	備考
Tarzan	1年		
太陽	10年		休刊
ダ・ヴィンチ	2年		
たくさんのふしぎ	10年		
短歌	2年		
小さな蕾	永年		
ちいさなかがくのとも	10年		
中央公論	2年		
チルチンびと	3年		
つくる陶磁郎	永年		休刊
手の仕事	10年		休刊
天然生活	3年		
東海ウォーカー	1年		
陶工房	永年		
陶磁郎	永年		休刊
ドゥーバ!	3年	寄贈	
陶遊	永年		
ナンバー	2年		
日録20世紀	10年		休刊
日経おとなのOFF	2年		休刊
日経トレンディ	1年		
日経PC21	1年		
日経マネー	2年		
日本の国宝	10年		休刊
日本歴史	10年		購入停止
newsがわかる	10年		
ニュートン	2年		
ノンノ	1年		
俳句	2年		
花時間	3年		
母と子ども	永年		休刊
ハルメク	2年		
美的	1年		
ひととき	1年	寄贈	
hitomi	永年		休刊
ビーバル	2年		
ひよこクラブ	2年		
Fishing Cafe	1年	寄贈	
FINE BOYS	1年		
婦人公論	2年		
婦人之友	3年		
部落解放	10年	寄贈	
プレジデント	1年		
文芸春秋	2年		
炎芸術	永年		
ポプラディア	10年		休刊
毎日が発見	2年		

雑誌名	保存年数	受入れ区分	備考
LEE	2年		
歴史街道	3年	寄贈	
歴史人	3年		
歴史と民俗	10年	寄贈	
レタスクラブ	2年		購入停止
私のカントリー	5年		
和楽	3年		
ランドネ	2年		
ランナース	1年		
住まいの設計	2年		
世界	2年		
セブンティーン	1年		
セラミックス	永年		製本保存
装苑	2年		
dime (タイム)	1		
メンズクラブ	1年		
メンズノンノ	1年		購入停止
MOE	3年		
モノ・マガジン	1年		購入停止
やさい畑	5年		
山と溪谷	2年		
趣味の水墨画	10年		休刊
新春・すてきな奥さん	2年		購入停止
すてきにハンドメイド	3年		
ず・ぼん	10年		休刊
ミセス	2年		休刊
ミセスのスタイルブック	3年		購入停止
MUSICA	1年		
目の眼	10年		

白書	保存年数		備考
中小企業白書	3年		
男女共同参画白書	3年		
労働経済白書	3年		
森林・林業白書	3年		
食料・農業・農村白書	3年		
文部科学白書	3年		
観光白書	3年		
経済財政白書	3年		
厚生労働白書	3年		
環境白書	3年		

資料 6

公共施設再編成プランによる総合文化センターの位置づけについて

施設名	建築年度	床面積 (㎡)	耐用年数 到来年度	今後の方向性	計画(案)・検討事項	再編面積 (㎡)※2
中央公民館 (総称 総合文化センター)	S59 (1984)	6,012.00	R16 (2034)	規模を縮小。 瑞浪駅周辺再開 発事業※1 に伴 う公共施設と複 合化	<ul style="list-style-type: none"> 現在のホール、講堂、展示室の利用に対応できるよう平土間にもなり、市民が身近に文化芸術に触れたり、文化芸術活動や発表の場として利用可能なホール機能をもつ多目的ホール 客席は 780 席→400 席程度に縮小 貸室は、防音機能と使用面積の調整が可能なスペースを充実 ※3 	4,208.40
市民図書館	S58 (1983)	1,239.00	R15 (2033)		<ul style="list-style-type: none"> サロン型図書館への転換 利用者拡大と利用方法多様化、コミュニティを追求 居心地の良さ、カフェ等の付加機能の充実 	867.30
計		7,251.00				5,075.70

※1 駅北エリア事業スケジュール(案)

年 度	作業内容等
令和 3～4 年	事業化検討・事業実施手続き
令和 5～6 年	各種調査、基本・実施設計
令和 7～8 年	工事
令和 9 年～	施設開業・運営開始

※3 施設の利用状況(平成30年度実績)

	稼働率 (利用日数/開館日数)	ホールの 利用内容	ホールの利用人数	
			400 人以下	401 人以上
ホール	54.8% (172/314)	①	117 日	26 日
講堂	56.1% (176/314)	②	14 日	15 日
展示室	24.2% (76/314)	※利用内容		
会議室	57.3% (180/314)	①文化芸術に触れる、活動及び発表の場		
リハーサル室	77.1% (242/314)	②総会、講演会等		

※2 瑞浪市公共施設等総合管理計画(平成29年3月)で、公共施設延床面積を50年間で30%削減する数値目標を掲げる。